



持続可能な印刷

# Modern flexo.



一貫性のある印刷

powered by  
miraclon



効率的な印刷



高性能な印刷

## モダンフレキソとは？

フレキソ印刷が現在および未来のブランドニーズを満たすためには、製造プロセスの標準化を推進する必要があります。最新のフレキソ印刷は、そうした印刷の進化によるさまざまなメリットを印刷会社にもたらします。[その仕組みについて解説します。](#)

ブランドは常に、より効率的で、より地球環境に優しいパッケージ印刷を求めています。そうしたニーズに応えるには、従来の手作業による「旧式」の印刷作業から、標準化された持続可能な製造プロセスへと進化しなければなりません。

一貫性があり、高機能で、効率化を推進し、サステナビリティを改善する標準化された製造プロセス。私たちはそれを「モダンフレキソ」と呼んでいます。

印刷業界全体でスキルが不足していること、そして印刷会社は生産量を高め、サステナビリティの改善を実施しなければならないというプレッシャーにさらされている状況が相まって、「手作業」の工程を減らし、より効率化された、作業員の介入がない、多種多様なクライアントニーズに対応できる印刷が求められています。

miraclon

最新のフレキシ印刷の印刷生産には、以下の特長があります。

- フレキシ印刷は、グラビア印刷、オフセット印刷、デジタル印刷と同等の美しさを実現できます
- 印刷結果に一貫性があり、予測可能なので、大部分印刷に対応できます
- 印刷ジョブはできる限り少ない色数で印刷されます（プロセスカラーは多め、スポットカラーは少なめ）
- 印刷条件が印刷条件の幅（寛容度）を拡大し、クリーンな印刷を促進します
- より地球環境に優しい資材を使って、（重大な案件を含む）難しい環境でも印刷結果を最適化できます

## プレートは促進剤

最新のフレキシ印刷を導入するには、印刷会社と主要サプライヤーの協働が不可欠です。印刷機、インク、アニロックスのメーカーや、製版会社は、過去15年にわたり着実に革新を進めてきましたが、フレキシ印刷プロセスの中心に位置するのはフレキシプレートです。プレートは、被印刷体、インク、テープ、アニロックスを統合し、印刷機能と印刷結果に影響を与えます。印刷室で優れた一貫性を持つ、クラス最高のフレキシ印刷を実現する鍵を握るのはプレートなのです。

## Miraclonはモダンフレキシの旗手

当社独自の FLEXCEL NX テクノロジーは、Modern Flexoの基盤となるインク転移の極めて高い制御を可能にし、複合した表面パターン形成を可能にします。

FLEXCEL NX plateの表面には、デジタル画像処理が施されたインク流路があります。インク流路の幅はわずか4~6ミクロンで、人間の毛髪の幅に6本の流路がある計算になります。多種多様な用途に合わせて変更が可能で、プリプレス、被印刷体、インク、アニロックスをさまざまに組み合わせることもできます。複合構造の表面パターンニングは、製版工程から変動要素を排除する、Miraclon独自のイメージングおよび製版技術でしか実現できません。

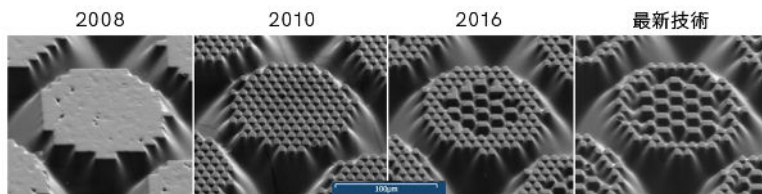
**「最新のフレキシ印刷を導入する印刷会社には、印刷機稼働時間の延長、印刷トラブルの減少、廃棄物の削減、印刷ジョブスケジュール設定の効率化といったメリットがあります」**

## イノベーションの継続

当社の複合構造の表面パターンニング技術は、数年にわたり進化を繰り返すたびに、インク転移レベルを新たなレベルに引き上げ、フレキシ印刷の品質、予測可能性、一貫性を改善してきました。下の図の走査型電子顕微鏡 (SEM) 画像は、その過程を明確に示しています。

Miraclonは、数世代にわたり進化させてきた複合構造の表面パターンニングにより、インク転移のコントロールレベルを新しいレベルに引き上げます

150lpiで50%ドット - 500倍に拡大したSEM画像



表面パターンなし ソリッドインクの定着を管理するためのパターン Miraclon独自の複合構造の表面パターンが、マルチフォームインクコントロールを実現

最新世代のPureFlexo™ Printingでは、特に不要なインクの拡散に対処しています。この問題は、印刷中に印圧をかけ、印刷速度が低下したり、版拭きのために予定外の印刷機停止が頻発したり、印刷のセットアップの許容範囲が全体的に縮小したりすることにつながります。許容範囲の広さは、利益が出る生産の重要な要素です。許容範囲が狭い場合、印刷条件のちょっとした変化があると品質に影響を受け、その結果、生産性が低下して時間がかかり、材料のムダが多くなります。

## 今後の成長への道筋

最新のフレキシ印刷を導入する印刷会社には、印刷機稼働時間の延長、印刷トラブルの減少、廃棄物の削減、印刷ジョブスケジュール設定の効率化といったメリットがあります。そうした印刷会社は、より持続可能なオフリングを商業化し、これまで他の印刷プロセスで印刷されていたジョブにも対抗できる体制を整えることができます。

